

秋田の土地改良

4

2011・APR



東日本大震災の被災地の皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。



がんばれ東北! がんばろうニッポン!!

目次

水土里ネット秋田第53回通常総会を開催……………	2	新任あいさつ(秋田県農林水産部参事(兼)農地整備課長 難波和聡)……………	9
土地改良区合併予備契約調印式(三種町)……………	5	平成23年度本会機構図及び職員配置……………	11
第53回全国水土里ネット通常総会……………	5	水土里ネット秋田 新任職員の紹介・連合会日誌……………	13
第52回全国土地改良功労者表彰……………	6	特集:地域からの情報発信(大館・北秋田支部 水土里レポーター)……………	14
平成22年度東北農業農村整備推進協議会(農地集団化促進部会)優良地区表彰……………	7	特集:農業水利施設内の「ゴミ」問題(シリーズ⑤)……………	15
平成23年度土地改良振興基金のご案内……………	7	会員だより……………	15
平成23年度秋田県人事異動(農林水産部関係)……………	8	インフォメーション……………	16



●発行所 秋田県土地改良事業団体連合会 〒010-0967 秋田市高陽幸町3番37号
 TEL 018-888-2750(代) FAX 018-888-2834
<http://homepage2.nifty.com/akidoren/>



第53回 本会通常総会



3月18日、本会第53回通常総会が、県社会福祉会館(秋田市)において会員127名(内委任状61名)が出席し、来賓として佐竹敬久秋田県知事、高松和夫衆議院議員ほか関係者がご臨席のもとに開催された。

開会に先立ち、去る3月11日に発生した「東日本大震災」により、お亡くなりになった方々に哀悼の意を表し、参加者全員での黙祷が捧げられた。

総会は、高貝会長が「平成23年度予算は、本会を事業主体とする補助事業は、事業仕分けに起因する国の制度改正により、大幅な削減となっている。受託事業に関しても、現在まで掌握している可能な限りの額を計上した厳しい状況にあるが、会員の皆様の事業推進等に対する要請には、十分お応えして参りたい」などと開会の挨拶を述べた。また、来賓祝辞として佐竹知事が「国の予算の大幅な削減等により、農業農村整備事業などを取り巻く環境は厳しくなっているが、県独自の『農林漁業振興臨時対策基金』を活用した事業など、できるだけ予算措置をして参りたい」と祝辞を述べられ、その後、平成22年度の功績者表彰として優良6団体及び個人17名の表彰が行われた。



議事では、議長に秋田市旭川筋土地改良区理事長佐藤國夫氏を選出し、平成21年度事業報告・一般会計収支決算及び財産目録、平成22年度一般会計収支補正予算(理事会専決処分)、平成23年度事業計画、同一一般会計収支予算などが審議され、提出案件がすべて承認・議決された。



中でも、事業計画に関し、羽後町土地改良区理事長斎藤喜光氏から「維持管理計画書作成支援業務」の継続実施に対する謝辞と、依頼者としての会員の心構えに対する提案があったほか、県が新たに取り組む「排水強化対策事業」にも、会員からの要望地区に側面から支援していくことなどが承認された。

最後に、黒子専務理事により決議文の朗読・提案があり、満場の承認を得て採択され、総会は終了した。

なお、今回表彰された功績者表彰(優良団体及び個人)は、次のとおり。

団体表彰(土地改良区)

- 金章 戸村、秋田県仙北南部
- 銀章 森吉町、山本郡藤里町藤琴、八郎潟西部干拓地区
- 銅章 秋田市上新城

個人表彰

- 立山高則、佐藤年幸、菅原恵理子、唐土義弘、土田文雄、吉田新一、船橋金弘、千田博、鈴木久夫、佐藤邦彦、斉藤理枝子、大石清美、工藤誠悦、小野寺敬介、打川正美、鈴木葉子、篠田學而



第53回通常総会あいさつ



水土里ネット秋田 会長
高 貝 久 遠

まず、冒頭に、「東日本大震災」によりお亡くなりになられた皆様に深い哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に対しまして、心からお見舞い申し上げます。

会員の皆様には、年度末並びに大震災後の何かとご多忙の中、ご参会頂き誠にありがとうございます。

また、ご来賓の皆様には、万障お繰り合わせの上ご臨席を賜り、厚くお礼申し上げます。皆様には、日頃から農業農村整備事業の推進並びに本会の業務運営に、特段のご指導・ご支援を頂き、重ねて感謝申し上げます。

本日、予定どおり総会を開催させて頂きましたのは、今後、被災県からの人的支援等の要請が想定されることから、組織を上げて対応するため、新年度の執行予算等を早期に成立させて頂き、体制を確立しておく必要があるとの判断からでございます。

農業農村整備事業を取り巻く情勢等につきましては、大会決議(案)に記載させて頂いておりますので、本日、ご審議頂く案件の主なものについてご説明申し上げます。

最初に、本年度の決算見込み状況であります。骨格をなす受託事業につきましては、県からの受託が予想を上回ったことなどから、当初比3割程度の増額となっております。

次に、来年度の事業計画であります。会員の皆様の付託に応えるべく、維持管理計画書作成支援と農業水利施設の「ゴミゼロ」対策等を引き続き実施させて頂くほか、最終年を迎える「農地・水・環境保全向上対策」についても、次期対策への要望活動を強力に展開して参ります。

また、施設の適正・的確な整備、補修を推進することを目的に、県が実施する「農業水利施設データベース化促進事業」に積極的に係わらせて頂きますとともに、県が新たに取り組む食料自給率向上に不可欠な水田汎用化に直結す

る排水強化対策には、皆様の要望地区に側面から支援して参ります。

さらに、来年度予算につきましては、本会を事業主体とする補助事業が、事業仕分け等に起因する国の制度改正より、大幅な削減となっております。受託事業に関しましても、現在まで掌握しております可能な限りの額を計上するなど厳しい状況にありますが、会員皆様の事業推進等への要請にも、十分お応えして参りたいと存じております。

なお、この後、引き続き表彰が行われますが、受賞される土地改良区並びに役職員の方々は、いずれも農業農村整備事業の推進に貢献され、地域の発展に優れた功績を上げられた方々であり、心から敬意を表しますとともに、引き続き農業農村の発展に特段のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

ここで、皆様に、大変喜ばしいご報告を申し上げます。

全国水土里ネットから、「平成22年度農業農村整備優良地区コンクール(農業生産基盤整備部門)」におきまして、会員であります「仙北平野豊川土地改良区」が最上位のランクの「農林水産大臣賞」を受賞することが決定した旨の通知がありました。

豊川土地改良区は、「経営体育成基盤整備事業」の推進母体として、従来から行われている「土地総型」の地区でありながら、事業を契機に、集落営農組織等への集積を飛躍的に増加させ、これら経営体の営農努力により「生産性の高い水田農業経営」が確立されていることなどが、高く評価されたものと伺っております。誠に御慶び申し上げます。

最後になりますが、ご提案申し上げました各議案について、よろしくご審議、ご決定賜りますようお願い致しますとともに、本日ご参会の皆様のご健勝、ご活躍を心から祈念を申し上げ、開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。



決 議



国民の生存にとって不可欠である食料の安定供給を、将来にわたり確保するためには、我が国の気候風土に根ざした水田を始めとする農地や農業用水等の整備、担い手等が安心して定住できる環境整備など、農業農村整備を一層推進し、農業生産の増大を図る必要がある。

また、農業農村整備事業には、食料安定供給の確保、農業の持続的な発展、農村の振興等に資するという目的があり、その推進母体である水土里ネットは、使命に基づき、国民の食料安全保障や地域経済等、国民生活にとって極めて大きな課題の克服に貢献することが期待されている。

しかし、農業農村を取り巻く情勢は、高齢化に伴う担い手不足や耕作放棄地の増加、長期的な米価の下落、貿易自由化を巡る動きなど、一段と厳しさを増している。さらに、戸別所得補償制度の導入に伴う農業農村整備予算の大幅な縮減など、国の政策転換と相まって、農業の未来に絶望感さえも抱かせている。

こうした時代の中で、我々水土里ネットには、先人達の叡智と努力の積み重ねにより守り育まれてきた「水」、「土」、「里」を次世代に引き継いでいく責務がある。このような重大な使命と期待を担う農業農村整備を積極的かつ着実に推進するため、下記事項の実現を図ることを総会の名において決議する。

記

- 一、戸別所得補償制度の充実を図り、国内農業の崩壊へと繋がるTPP参加には、十分な議論を重ね、慎重に対処すること。
- 一、食料自給力向上に資する農地の確保と高度化を推進する農業農村整備事業予算を、平成21年度並に復活すること。
- 一、多面的機能の発揮など、水土里ネットが果たしている公益的な役割を評価し、公的支援を制度化すること。
- 一、継続的な農業生産の礎となる土地改良施設の計画的な更新整備を、国策として推進すること。

平成23年3月18日

秋田県土地改良事業団体連合会 第53回通常総会
(水土里ネット秋田)



三種町土地改良区合併予備契約調印式

平成23年3月3日(木)三種町役場本庁に於いて、「三種町土地改良区」の設立に向けた、三種町の2土地改良区(三種町鶴川、三種町泉八日)による合併予備契約調印式が行われた。

平成20年9月に、各種事業の円滑な推進と、地域における土地と水の調整機能を十分に発揮できる組織体の実現を目指し、「三種川水系地区土地改良区統合整備推進研究会」を発足しているが、賦課金の格差問題等、様々な課題があった。

しかし、統合整備による合理的で且つ財政的に安定した土地改良区運営が必要であるとの強い認識のもとに、それぞれの課題を克服し、「三種川地区土地改良区合併推進協議会」において統合整備計画等の協議が重ねられた。

調印式は、両土地改良区役員や町・県の関係者を含めて約60人が出席し、合併推進協議会会長を務める三浦三種町長が「土地改良区には規模拡大や低コスト化、豊かな環境保全への役割も求められている。合併を機に、合理的で財政的に安定した運営、組合員へのきめ細かなサービスによって地域農業の振興に貢献されることを期待している」とあいさつ。三浦町長の立ち会いで、両理事長が予備契約書に署名、押印した。両土地改良区は、3月26日までに総(代)会での議決を得ており、現在、合併認可申請に向けた設立委員会開催の諸準備を行っているところで、今年、11月1日の合併を目指すこととしている。

合併後は、面積1,062ha、組合員622人で、ともに町内4土地改良区で最大となる。



全国水土里ネット

第53回通常総会

—— 本会・高貝会長が理事に再選される。 ——

3月29日、都市センターホテル(東京都)で、各都道府県水土里ネットの関係者等が出席して、全国土地改良事業団体連合会第53回通常総会が開催された。

総会は、提出議案の平成22年度事業中間報告、同収入支出補正予算、平成23年度事業計画、同収入支出予算などの審議が行われ、いずれも原案どおり承認・議決された。

また、任期満了に伴う役員選任が行われ、本会の高貝会長が理事に再選された。

■平成23年度事業計画〔重点項目〕

- ①食料自給力向上に資する農地の確保と高度化の推進
- ②継続的な農業生産の礎となる土地改良施設の計画的な更新整備
- ③土地改良施設の適正な維持管理体制の充実強化と多様な主体の参画促進
- ④水土里ネットの、時代に応じた役割と使命の在り方の検討
- ⑤食料基盤の確保と農村地域資源の保全等に係る国民合意に向けた広報活動の推進

第52回全国土地改良功労者表彰 平成22年度農業農村整備優良地区コンクール

■第52回全国土地改良功労者表彰 本県3団体4個人が受賞決定

全国土地改良功労者表彰は、永年にわたり土地改良事業に尽力され、功績が認められた土地改良関係者（優良団体・個人）が表彰されるもので、本県関係として、今回は、全国水土里ネット会長表彰・金章の戸村土地改良区を始め、3団体4個人の受賞が決定した。

表彰は、例年であれば全国水土里ネット通常総会と同日に行われているが、今回は、「東日本大震災」での未曾有の被害等を考慮し、5月下旬に行われる予定である。

〔優良団体表彰：水土里ネット会長表彰〕

- ◇金章 戸村土地改良区
- ◇銀章 能代南土地改良区、秋田市孫左衛門堰土地改良区

〔個人表彰：水土里ネット会長表彰〕

- ◇鈴木 清（男鹿東部土地改良区理事長）
- ◇日野隆悦（稲川土地改良区事務局長）
- ◇小林勇一（大仙市神宮寺松倉堰土地改良区事務局長）
- ◇齊藤昭憲（大潟土地改良区事務局長）

※個人表彰（職員）における職名は、受賞決定時のもの

■平成22年度農業農村整備優良地区コンクール(農林水産大臣表彰)に、「仙北平野豊川土地改良区」が決定

農業農村整備事業を契機として、効率的かつ安定的な農業経営を行い、生産性や収益性の高い農業を積極的に展開している地区を表彰する、平成22年度農業農村整備優良地区コンクール（農業生産基盤整備部門）において、最上位のランクである「農林水産大臣表彰」受賞に「仙北平野豊川土地改良区」が決定した。

表彰は、震災を考慮し、全国土地改良功労者表彰と同日に行われる予定である。

■土地改良事業地区営農推進優良事例表彰(農村振興局長表彰)に、「樽見内営農組合」が決定

国営土地改良事業を実施中又は完了している地区において、事業の実施を通じて、産地形成や優れた営農の定着等の成果がみられる先進的な団体の事例を顕彰し、広くその成果を普及するために行われている「土地改良事業地区営農推進優良事例表彰」の、平成22年度「農村振興局長表彰地区」に、「国営かんがい排水事業平鹿平野地区」の受益地内の「農事組合法人・樽見内営農組合」が決定した。

表彰は、震災を考慮し、表彰状の送付をもって行われる予定である。

平成22年度農地集団化優良地区表彰

「堀板地区」が全国農地集団化協議会長表彰を受賞

農用地等の集団化事業を実施した地区で、その成績優良が他の模範となる地区(換地業務の委託を受けている団体)等を表彰する、平成22年度の東北農業農村整備推進協議会(農地集団化促進部会)優良地区表彰について、本県関係分として、全国農地集団化協議会長賞の1団体、東北農業農村整備推進協議会長賞の4団体が決定した。

表彰は、大震災を考慮して、表彰状と記念品が郵送される予定である。

■全国農地集団化協議会長表彰

「堀板地区」(大仙市仙北総合支所)

■東北農業農村整備推進協議会長表彰

「糸流川地区」(琴丘土地改良区)

「花館地区」(秋田県仙北平野土地改良区)

「六郷西部地区」(仙北郡六郷町土地改良区)

「里見地区」(おものがわ土地改良区)

平成23年度土地改良事業振興基金制度のご活用を！

本会会員が土地改良事業を円滑に推進するため、補助金・公庫資金・賦課金等の受領までに一時的に必要となる「つなぎ資金」を、低利かつ速やかに融資することを目的としており、平成23年度は以下のとおりとなりますのでご活用下さい。

〔債務保証限度、期間及び負担利子計画〕

資金別	保証限度	保証期間	借入利率	利子補給率		借入団体負担	
				借入10,000千円迄	借入10,000千円を超えた部分		
災害応急資金	出資金額の10倍	12ヵ月以内	1.940%	1.415%	0.7075%	利子補給以外を負担	
補助金	出資金額の30倍	6ヵ月以内	1.940%	1.415%	0.7075%		
農林漁業資金	出資金額の30倍	3ヵ月以内	1.940%	—	—	1.940%	
災							0.75~1.60%資金
非							1.50%資金
団							1.50%資金
県	1.65%資金						
団体運営資金(賦課金)	出資金額の10倍	8ヵ月以内	1.940%	1.415%	0.7075%	利子補給以外を負担	

注) 10,000千円迄の借入は、借入団体0.525%の負担

【取扱金融機関】北都銀行本店

【申込窓口】総務企画部広報・渉外班 TEL.018-888-2742

平成23年度 秋田県関係機関の紹介

秋田県は4月1日付けで、平成23年度定期人事異動を発表しました。農林水産部及び各地域振興局の関係機関の主な担当者は次の通りになりましたのでお知らせします。

【秋田県農林水産部】

部長・次長・参事・課長等の紹介(H23.4.1現在)

部長	三浦 庄助
森林技監	猪島 康浩
農林水産技術センター所長	菅原 仁司
次長	藤井 英雄
次長	鈴木 誠
次長	沓沢 了介
次長	清野 弘久
参事	金澤 千昭
参事(兼)農地整備課長	難波 和聡
参事(兼)森林整備課長	宮崎 一彦
参事(兼)園芸振興課長	田中晋太郎
農林政策課長	照井 義宣
農林政策課政策監	森屋 哲次
団体指導室長	栗林 勉
農地整備課政策監	藤原 隆則
農山村振興課長	保坂 龍弥
農山村振興課政策監	藤原 元吉
流通販売課長	草薨 作博
水田総合利用課長	佐藤 博
畜産振興課長	土田 正広
水産漁港課長	中村 彰男
林業木材産業課長	福井 敬二
林業木材産業課政策監	阿部 雅弘
農林水産部課長待遇	
・秋田県土地改良事業団体連合会派遣	石井 正幸
・秋田県農業公社派遣	草薨 睦雄
・秋田県農業会議派遣	目黒 久彦

【県地域振興局】

各地域振興局長及び農林部長名等は次のとおり。

[鹿角地域振興局]

◇局長：武田恭彦 ◇農林部長：倉部明彦

[北秋田地域振興局]

◇局長：長谷部勝 ◇農林部長：渡辺兵衛

[山本地域振興局]

◇局長：菅原徳蔵 ◇農林部長：小川 正

[秋田地域振興局]

◇局長：森田新一郎 ◇農林部長：菊子正稔

[由利地域振興局]

◇局長：伊藤邦夫 ◇農林部長：菊地正隆

[仙北地域振興局]

◇局長：伊藤 淳 ◇農林部長：伊藤盛徳

[平鹿地域振興局]

◇局長：菊地嘉武 ◇農林部長：柳原 守

[雄勝地域振興局]

◇局長：大塚行雄 ◇農林部長：金多喜夫

【その他関係部署】

生活環境部

八郎湖環境対策室長 下山 昇

建設交通部

技術管理室技術管理監 松橋 久光

出納局

参事 佐々木次郎



新任のごあいさつ

秋田県農林水産部参事(兼)農地整備課長 難波 和 聡

水土里ネット会員の皆様におかれましては、日ごろから農業農村整備事業の推進につきまして、格段のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

着任にあたり、地域の将来に重要な役割を果たす、農業農村整備事業の展開にかかる重点事項についてお話しをさせていただきます。

農業生産基盤の整備は、本県の基幹産業である農業を支える基盤づくりとして必要不可欠な事業であります。ついては、戦略作物等の産地づくりと一体となったほ場整備を重点的に進めるとともに、特に、昨年創設した県独自の「農林漁業振興臨時対策基金」の目玉事業として、モミガラ補助暗渠等による水田の排水強化対策を全県にて推進してまいります。

併せて、農業生産の基礎となる農業用水を安定的に確保するため、農業水利施設の機能維持を目的とした予防保全対策や更新・整備事業についても、計画的に進めてまいります。

また、引き続き地域の共同活動等による農地・水・環境保全活動や農村資源の管理などの役割を担う土地改良区の体質強化についても支援してまいります。

国の予算の大幅な削減等により、農業農村整備事業などの公共事業を取り巻く環境は大変厳しいものとなっておりますが、県としましては、今後とも、計画的な事業実施に必要な予算の確保に努める所存でございますので、これまで以上のご理解とご協力をお願いいたします。

終わりになりますが、水土里ネット会員の皆様の益々のご健勝とご発展を祈念いたしまして、新任のご挨拶とさせていただきます。

■各地域振興局農林部農村整備課長・所長及び班構成

◇鹿 角：齊藤秀悦

(ふる里づくり班・生産基盤班)

◇北秋田：田口 馨

(管理班・ふる里づくり班・生産基盤班)

◇山 本：袴田鉄直

(ふる里づくり班・生産基盤班)

◇秋 田：伊藤雄光

(管理班・ふる里づくり班・生産基盤第一班

・生産基盤第二班・秋田西部班)

◇八郎潟基幹施設管理事務所：小武海新一

◇由 利：菊地 均

(ふる里づくり班・生産基盤班)

◇仙北 農村整備第一課：佐藤弘巳

(管理班・ふる里づくり班・生産基盤第一班

・生産基盤第二班・生産基盤第三班・環

境基盤班)

◇仙北 農村整備第二課：柳田修身

(生産基盤第一班・生産基盤第二班・生産基

盤第三班)

◇平 鹿：高畑新一

(ふる里づくり班・生産基盤班・環境基盤班)

◇雄 勝：川尻茂春

(ふる里づくり班)

平成23年度

土地改良関係課職員配置(秋田県)

(平成23年4月1日現在)

農地整備課

参事(兼)課長
難波和聡

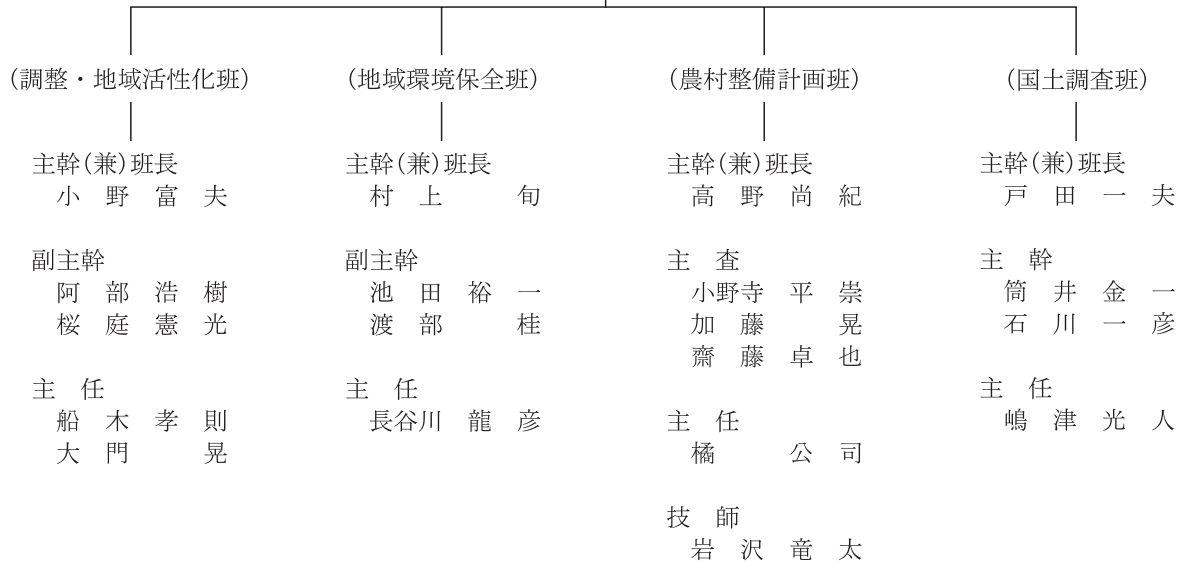
政策監
藤原隆則



農山村振興課

課長
保坂龍弥

政策監
藤原元吉



平成23年度本会機構図及び職員配置

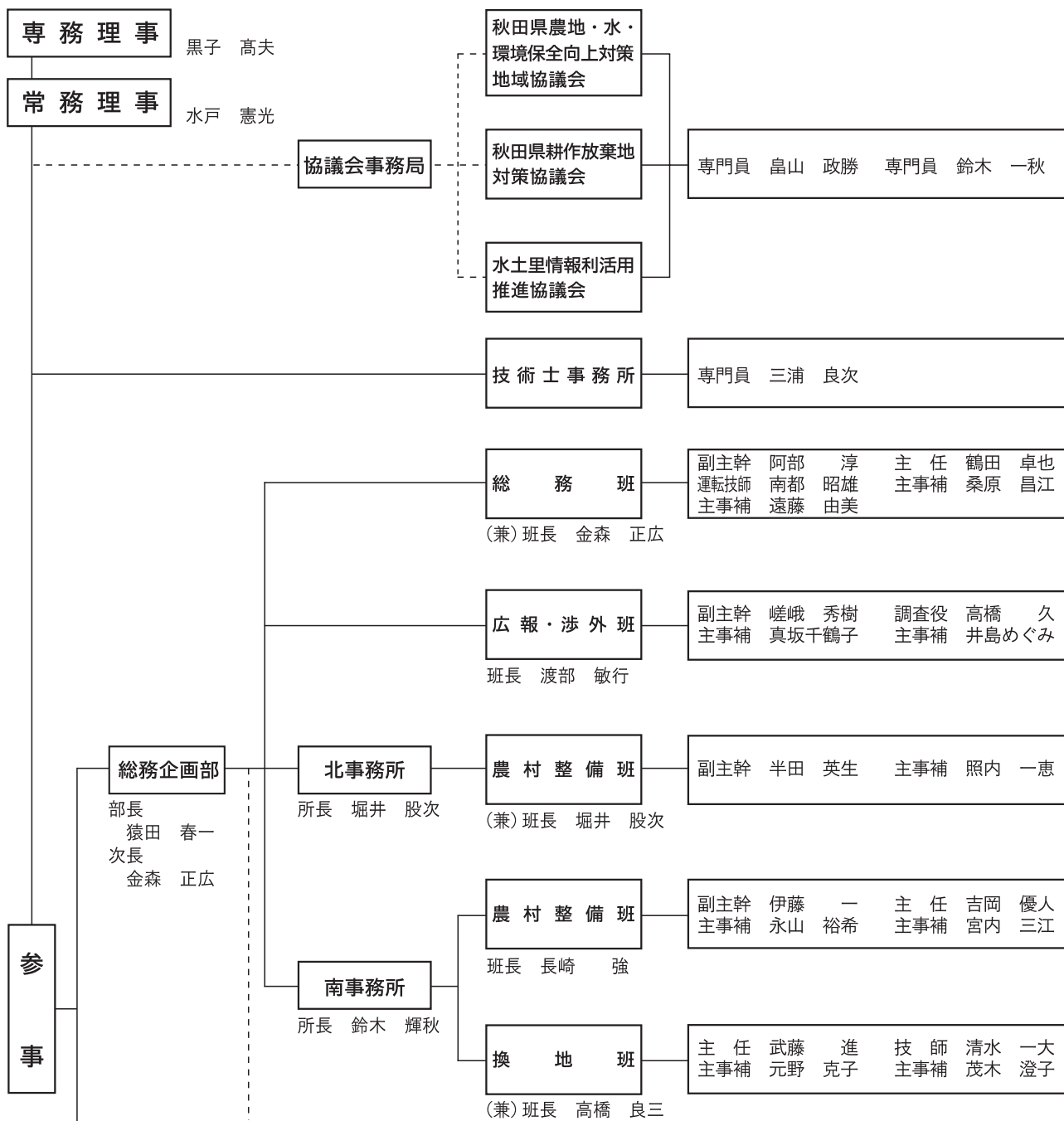
(平成23年4月1日付発令)

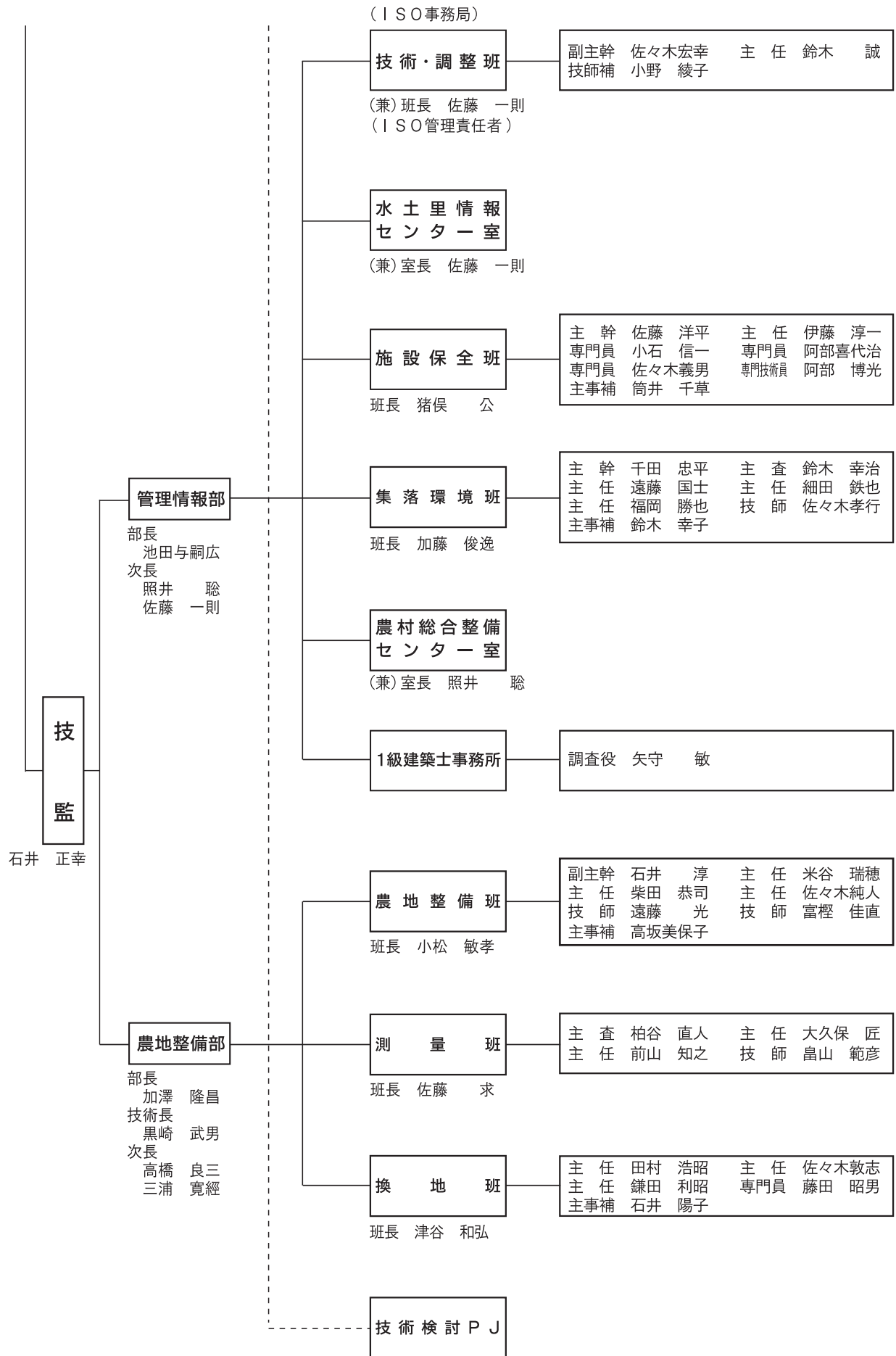
本会は、平成23年度の人事異動を4月1日付で発令した。事務局体制は3部11班2センター室、2事務所となっている。また、協議会事務局として「秋田県農地・水・環境保全向上対策地域協議会」、「秋田県耕作放棄地対策協議会」、「水土里情報利活用推進協議会」の事務運営を行うほか、新たに「技術士事務所」を創設した。

なお、昨年度で職員8名（三浦良次氏、戸沢正巳氏、伊藤弘之氏、鷹鷲忍氏、伊藤清悦氏、齋藤恵一氏、阿部達男氏、石川美喜子氏）が退職となった。

平成23年度の本会機構図及び職員配置は、次のとおりです。

平成23年度 秋田県土地改良事業団体連合会職員配置図





水土里ネット秋田 新任職員の紹介

4月1日付の人事異動で、本会の技監として秋田県農林水産部課長待遇の石井正幸氏が派遣となりました。また、新たに3名が新規採用となりましたので紹介します。

【1. 所属・役職 2. 前職（出身校） 3. 抱負（自己PR）】



いし い まさ ゆき
石井正幸

1. 技監
2. 秋田県農林水産部
農山村振興課・主幹

3. 農業農村基盤の一翼を担う土地改良も現在は間口が幅広くなっており、関係機関と積極的に連携しながら、より公益性と効果の高い事業展開を図っていく中で、自分なりに役割を果たし、少しでも本会の発展に貢献できるよう努めてまいりますので、皆様の御指導を宜しくお願いします。



さ さ き たか ゆき
佐々木孝行

1. 管理情報部集落環境班・技師
2. 東北学院大学大学院工学
研究科土木工学専攻

3. 社会人としての不安もありましたが、先輩方の丁寧な指導や雰囲気緊張も解れてきました。今後は皆さんに仕事を安心して任せられると思って頂けるよう頑張ります。よろしくご指導のほどをお願いいたします。



と がし よし なお
富樫佳直

1. 農地整備部農地整備班・技師
2. 弘前大学農学生命科学部

3. ふるさと秋田の農業を支える仕事をしたいと思っています。秋田の発展や東北地方の復興に貢献できるように頑張ります。よろしくお願い致します。



さ さ き よし お
佐々木義男

1. 管理情報部・専門員
2. 秋田県八郎潟基幹施設
管理事務所・所長

3. 農業用排水施設の適正な保全管理の実施を支援して行きたいと思っております。皆様よろしく申し上げます。

連 合 会 日 誌

4月12日	全国水土里ネット理事会、臨時総会	東京都
4月14日	平成23年度仙北支部全体会及び仙北土地改良推進協会総会	大仙市
4月15日	秋田県土地改良事業団体職員会秋田支部平成23年度通常総会	秋田市
4月22日	第40回秋田支部通常総会	秋田市
4月25日	本会第1回監事会	本会「第1会議室」
4月25日	本会第1回理事会並びに役員会	本会「第1会議室」
4月25日	大館地区土地改良区連絡協議会平成23年度定例総会	大館市
..... 今後の行事予定		
4月26日	山本支部全体会	能代市
4月27日	第7回大館・北秋田支部全体会	北秋田市
4月28日	平成23年度雄勝支部全体会	湯沢市
4月28日	平成23年度鹿角支部全体会	鹿角市

特集

地域からの
情報発信

21創造運動の取り組み〔水土里ネット釈迦内〕

大館・北秋田支部水土里レポーター 北林 正志



平成22年に大館市内4土地改良区（大館市、釈迦内、花矢、下川沿）が合併し、大館市土地改良区として発足しましたが、合併前の旧大館市釈迦内土地改良区の21世紀土地改良区創造運動の取り組みを紹介します。

大館市は秋田県の内陸北部、青森県境に位置し、釈迦内地区は市域の北部、一級河川米代川の支流の一つ下内川左岸とJR奥羽本線に挟まれた幅1.2km、長さ3.0kmの細長い平坦地である。農家の殆どは稲作が中心で、粘質の肥沃な土と気温は、山間地域特有の寒暖の差が良質米として食味に反映されている。



昨年、地元釈迦内小学校5年生を対象に社会科授業の一環で「日本の農業について」と題した稲作体験を実施。田植えは昔ながらの型枠（ゴロ）による手植えとあって最初は戸惑いながらも時間とともに手際さ、生徒の働きぶりは、頼もしい限りであった。

秋の収穫には地元の向陽幼稚園（26名）も参加し、刈り取った稲の棒掛けなどで、皆が楽しい一日の思い出

になったことと思う。

次回からは、田植えに園児も参加することになっており、土地改良区は田んぼだけでなく、地域の活性化と地域資源、環境にも重要な係わりがあることを理解してもらうための活動を計画し、進めていく事としている。



特集 農業水利施設内の「ゴミ」問題 シリーズ⑤

水土里ネットが管理する農業水利施設におけるゴミ発生状況

1 水土里ネットあたりの処理経費50万以上が28%で、最大では660万円の処理費用を負担、秋田県全体の処理経費としては、**5,200万円**となっている。（平成22年度調査・観察結果より）



平成23年度農業水利施設「ゴミゼロ」対策の取組み内容

○農業水利施設でのゴミ発生原因の研究とゴミ処理経費の軽減取組み

1. アンケート聞き取り調査（前年度の追跡調査）
 灌漑期（5月～8月）における管理人の処理経費等
2. ゴミマップの作成（前年度の調査結果を基に作成）
 22年度の水利施設調査341施設（うち基幹的施設311施設）
 《基幹的施設の内訳》
 ・ダム、ため池：24 ・頭首工：79 ・揚水機：110 ・水路：93
 ・その他：5（水門、樋門、畑かん、取水口等）

○農業者への農業ゴミ防止に対する意識の浸透と、地域活動を通じた住民へのゴミ投棄防止への取組み

1. 会員水土里ネットの広報誌等に「ゴミ捨て防止」コーナーを設けて頂き、農家への啓発活動を実施
2. 他機関が実施する活動への積極的参加
3. 本会会報誌「秋田の土地改良」及び本会ホームページでの広報活動の継続実施

会員だより

事務所移転のお知らせ

- 本荘東由利土地改良区（H23.4.1）
 （新所在地）〒015-0086
 由利本荘市館字石沢館7番地
 TEL.0184-29-2042 FAX.0184-29-2942
- 仙北市田沢湖若松堰土地改良区（H23.4.2）
 （新所在地）〒014-1113
 仙北市田沢湖卒田字荒町32
 TEL・FAX 0187-44-2122

新理事長就任のお知らせ

- 次の方々が新たに理事長に就任されました。
- 大仙市神宮寺松倉堰土地改良区（H23.1.21）
 理事長 齊藤 泰幸
 - にかほ市土地改良区（H23.4.1）
 理事長 伊藤 盛雄
 - 大仙市大曲土地改良区（H23.4.1）
 理事長 佐藤 孝次
 - 仙北市田沢湖若松堰土地改良区（H23.4.2）
 理事長 高橋 達
 - 大館市土地改良区（H23.4.6）
 理事長 佐藤 恭一
 - 戸村土地改良区（H23.4.15）
 理事長 須田 誠

インフォメーション

第9回 水土里のみちウォーキング」in 仁井田 walk

— ガンパロー東北！ 上を向いて歩こう。 —



- 〔主催〕 水土里ネット仁井田堰、秋田県ウォーキング協会
- 〔共催〕 秋田県、秋田市、秋田市教育委員会、水土里ネット秋田、水土里ネット秋田支部
- 〔主管〕 水土里のみちウォーキングin仁井田ウォーク実行委員会
- 〔協賛〕 J A新あきた、秋田中央農業共済組合
- 〔後援〕 秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会、エフエム橋台79.6MHz、秋田県サイクリング協会、財団法人秋田市勤労者福祉振興協会

開催日時 平成23年6月19日（日） ●ロングコース 9時出発式（8時30分～受付開始）
●ショートコース 9時出発式（8時30分～受付開始）

開催場所 秋田市四ツ小屋周辺（集合場所：秋田市御所野 県老人福祉総合エリア内駐車場）

- コース**
- ①**ロング・コース14km** 【所要時間：約3時間30分】
 エリア駐車場（スタート） → 四ツ小屋幹線水路 → せせらぎ水路広場 → ヤブレ沼 → 秋雄大橋 → 本田橋 → 豊成橋 → 仁井田堰頭首工 → 保量神社（仁井田堰幹線用水路） → 白山神社 → エリア駐車場（ゴール）
 - ②**ショート・コース6km** 【所要時間：約2時間】
 エリア駐車場（スタート） → 四ツ小屋幹線水路 → せせらぎ水路広場 → ヤブレ沼 → 白山神社（仁井田堰幹線用水路） → エリア駐車場（ゴール）

募集定員 250名（ロングコース100名、ショートコース150名）

参加費 一般 300 円（傷害保険料等）、中学生以下は無料（幼児・児童は保護者同伴のこと）
※参加費の一部は「東日本大震災」への被災者義援金とさせていただきます。

記念品 完歩者には「お米」、「記念品」、「水土里のみち完歩認定証」をプレゼント

申込み切 参加希望者は、ハガキに必要事項を記入の上、下記まで申してください。
 ①参加者氏名 ②年齢 ③性別 ④住所 ⑤電話番号 ⑥参加コース（14kmまたは6km）
平成23年6月3日（金）必着
 ※ 参加の可否は、後日ハガキにてお知らせいたします。（当日受付不可）

〔申込・問い合わせ先〕 水土里のみちウォーキングin仁井田ウォーク実行委員会（水土里ネット仁井田堰）
 〒010-1421 秋田市仁井田本町4-5-20 TEL.018-839-2504 FAX.018-839-2292

本会の時差出勤体制（平成23年度～）について

水土里ネット秋田では、平成18年度から地球温暖化対策と秋田市内の交通渋滞緩和に対応するため時差出勤を試行してきましたが、平成23年度からは一層の地球温暖化対策と併せて職員の柔軟な勤務体制の対応を目的に、通年にわたり実施することになりましたのでお知らせいたします。

●実施期間：平成23年4月1日～

勤務区分	勤務時間
通常	午前8時30分から 午後5時15分まで
時差(早)	午前7時30分から 午後4時15分まで
時差(遅)	午前9時30分から 午後6時15分まで

※休憩時間は、午後0時から午後1時まで（変更なし）

編集後記

◆3月11日、「東日本大震災」が発生しました。国内観測史上最大の地震と大津波、さらには原発事故とまさに未曾有の大災害です。直接的な被害の少なかった県内でも、1日以上停電、ガソリンや食料を求めての行列など、初めての出来事ばかりでした。何ら不自由しない生活の中で、自然の恐ろしさと人間の無力さを再認識させられた今回の大震災です。太平洋側を中心に今も余震が続いていますが、秋田沖には「地震空白地帯」があり、いつ災害が起こっても不思議ではないと言われていました。その時に慌てず、騒がず、冷静に行動するためにはどうしたら良いのか？…今回の大震災や2度目の停電（4月7日深夜）を踏まえ、今一度考えてみてはどうでしょうか。ガンパレ東北！ガンパロー日本！被災地の1日も早い復興を願っています。
 （広報・渉外班◆嵯峨記）

表紙写真 美しく豊かな農村づくり写真コンクール入賞作品「初体験」

※本印刷用紙は、大昭和板紙秋田工場で生産された「地産地消製品」を使用しております。